

2026 年春季大会プログラム
2026 年 6 月 27 日（土）・28 日（日）武蔵大学

9:00- 受付 2号館 1F エントランスロビー
6月27日【午前の部】 10:00-12:15

個人・共同研究発表 1 1号館 1F 1101 教室

司会：塩谷昌之（東京大学）

| 時間 | テーマ | 発表者（所属） |
|-----------------|---|----------------------------------|
| 10:00- 10:30 | 放送局女性上位管理職の昇進過程における組織経験 —「名誉男性」概念を手がかりとした質的分析 | 伊藤真保（名古屋大学大学院 院生） 山本竜大（名古屋大学） |
| 10:35- 11:05 | 批判的コミュニケーション論におけるバトラー理論の再検討—「呼びかけ」と「文化翻訳」を中心に— | 白上羽衣（慶應義塾大学大学院 院生） |
| 11:10- 11:40 | 「弱くて異常な男」からの脱出——YouTubeにおける性的節制と男性性イデオロギーのマルチモーダル批判的言説分析 | 藤本篤二郎（東京大学大学院 院生） |
| 11:45- 12:15 | Rule-Making as Hybrid Governance in Online Communities: Evidence from Celebrity Fan Groups on Weibo Supertopics | Yu Yanlin（筑波大学大学院 院生） |

個人・共同研究発表 2 1号館 2F 1201 教室

司会：有賀ゆうアニース（大阪公立大学）

| 時間 | テーマ | 発表者（所属） |
|-----------------|--|--|
| 10:00- 10:30 | FPS ゲーム内におけるジェンダーステレオタイプ —アバターの声を与える影響に着目して— 【発表辞退】 | LI ZIDIE（立命館大学大学院 院生） |
| 10:35- 11:05 | 『東京ラブストーリー』の文化的増幅 —女性誌を媒介とした 1990 年代日本の女性表象— | Minerva TERRADES（Universitat Autònoma de Barcelona 院生） |
| 11:10- 11:40 | 化粧品企業による「正しい」男性美容の構築 —資生堂広報誌『花椿』の分析から— | 渚夏葉（筑波大学大学院 院生） |
| 11:45- 12:15 | 雑誌文化のなかのマルチメディア —『FM ステーション』における受容の様式に注目して— | 菊池 虎太郎（大阪大学大学院・院生） |

個人・共同研究発表3 1号館2F 1203 教室

司会：新藤雄介（早稲田大学）

| 時間 | テーマ | 発表者（所属） |
|-----------------|--|-------------------|
| 10:00- 10:30 | 台湾における活動写真弁士の起源—高松豊次郎に見る特徴的要素 | 原口直希（東京大学大学院 院生） |
| 10:35- 11:05 | 日本映画社による Effects of the Atomic Bomb on Hiroshima and Nagasaki (1946) とラッシュフィルムと比較を通じた製作姿勢の考察 | 森田のり子（東京大学大学院 院生） |
| 11:10- 11:40 | 「非政治的」平和運動の政治性—『長崎新聞』を用いた長崎の平和運動の社会史— | 渡壁晃（京都大学・日本学術振興会） |
| 11:45- 12:15 | 「星の流れに」題名変更をめぐる逸話の再検討—占領期の流行歌と GHQ による検閲— | 吉野梢恵（早稲田大学大学院 院生） |

ワークショップ1（企画：社会研究分科会 メディア産業・技術研究プロジェクト）

2号館5F 2501 教室

| 時間 | テーマ | 発表者（所属） |
|-----------------|------------------------------|---|
| 10:00- 12:15 | メディア・テクノロジーとジェンダー—ワープロを事例として | 司会者：新倉貴仁（成城大学） 問題提起者：石田夏月（京都大学大学院 院生） 討論者：彭永成（桃山学院大学） |

ワークショップ2（企画：崔銀姫会員）2号館4F 2401 教室

| 時間 | テーマ | 発表者（所属） |
|-----------------|--|--|
| 10:00- 12:15 | 記念館はいかに特攻の記憶を構築するのか— 筑波と知覧にみる展示・メディア・慰霊の差異 — | 司会者：佐藤信吾（大妻女子大学） 問題提起者：沢木瑛美（佛教大学大学院 院生） 討論者：水島久光（東海大学） |

ワークショップ3（企画：文化研究分科会 マス・メディア文化プロジェクト）

2号館4F 2402 教室

| 時間 | テーマ | 発表者（所属） |
|-----------------|---------------------------------------|--|
| 10:00- 12:15 | 宮城県知事選挙における偽情報拡散への対応に関するローカルメディアの取り組み | 司会者・問題提起者： 安藤歩美(TOHOKU360) 樋口喜昭(東海大学) 討論者：漆田義孝(NPO 法人メディアージ)、大泉大介(河北新報社)、古田大輔(日本ファクトチェックセンター) |

ワークショップ4 (企画: 公募研究統括分科会 メディアミックスと産業研究)

2号館4F 2403教室

| 時間 | テーマ | 発表者(所属) |
|-----------------|---|---|
| 10:00- 12:15 | 都市・地域の中のゲームセンター—— 「周縁化」された「ゲーム経験」から考 える | 司会者: 永田大輔(明治学院大学) 問題提起者: 久保友香(メディア 環境学者)、ボトス・ブノワ(慶應 義塾大学) 討論者: 塚田修一(相模女子大学) |

ワークショップ5 (企画: ジェンダー/ダイバーシティ分科会) 2号館4F 2404教室

| 時間 | テーマ | 発表者(所属) |
|-----------------|----------------------------|--|
| 10:00- 12:15 | 女性と宗教をめぐる今日の問題とジェ ーナリズム | 司会者: 李美淑(東京大学) 問題提起者: 櫻井義秀(北海道大 学) 討論者: 菊地夏野(名古屋市立大 学) |

12:25-13:15 会長・開催校挨拶、総会、優秀論文賞授与式 1号館1F 1101教室

13:25-14:10 昼休み(理事会) 2号館4F 2401教室

6月27日【午後の部】 14:20-16:50

シンポジウム1 (14:20-16:50) 大講堂

| 時間 | テーマ | 登壇者(所属) |
|-----------------|-----------|---|
| 14:20- 16:50 | ファン研究とは何か | 司会: 杉山怜美(明星大学)、塚田修 一(相模女子大学) 話題提供者: 調整中、岡部大介(東 京都市大学) 討論者: バラニャク平田ズザンナ (成蹊大学)、辻泉(中央大学) |

17:00-19:00 懇親会 2号館1F ダイニング

9:00- 受付 2号館1F エントランスロビー

6月28日【午前の部】 10:00-12:15

個人・共同研究発表4 1号館1F 1101教室

司会：花田史彦（東北芸術工科大学）

| 時間 | テーマ | 発表者（所属） |
|-----------------|---|-------------------|
| 10:00- 10:30 | 満洲国モンゴル語新聞における複合的言説構造 - 『フフ・トグ』読者寄稿欄を事例に - | 包明珠（北海道大学大学院 院生） |
| 10:35- 11:05 | ニュース報道における「若者」カテゴリーとその運用——2000年代初頭における「フリーター」の社会問題化を事例として—— | 山内竜（慶應義塾大学大学院 院生） |
| 11:10- 11:40 | 新聞販売網再編の構造流通機能からのアプローチ | 小嶋真由香（立教大学大学院 院生） |
| 11:45- 12:15 | 1960年代韓国の日本文学ブームにおける「郷愁」の言説形成 | 金知ソク（北海道大学大学院 院生） |

個人・共同研究発表5 1号館2F 1201教室

司会：土屋祐子（桃山学院大学）

| 時間 | テーマ | 発表者（所属） |
|-----------------|--|-------------------|
| 10:00- 10:30 | 多元的主体を戦略的に生きる——中国人女性芸人・いぜんのメディア表象と実践 | 施欣淳（同志社大学大学院 院生） |
| 10:35- 11:05 | K-POP女性アイドルの「人格」はいかに構築されるか —第3世代から第4世代におけるメディア主権の転換と編集技法の分析— | 王思雨（慶應義塾大学大学院 院生） |
| 11:10- 11:40 | 「地元」：再帰的共同体の誕生——NHK朝ドラ『あまちゃん』（2013）を手がかりに | 楊雨（東京大学大学院 院生） |
| 11:45- 12:15 | 報道ビザがグローバル・ジャーナリストにもたらす制約：類型化と米中比較 | 張予思（東京大学大学院 院生） |

個人・共同研究発表6 1号館2F 1203教室

司会：小川豊武（日本大学）

| 時間 | テーマ | 発表者（所属） |
|-----------------|---|--------------------------------|
| 10:00- 10:30 | 日本の記者はどのようなイメージを持たれているのか —— ウェブ調査に基づく量的分析から | 日下部聡（大阪大学大学院 院生） 三浦麻子（大阪大学） |

| | | |
|-----------------|--|--|
| 10:35- 11:05 | 「南インド」の社会変容に向けた報道の考察 ポスト COVID19 のジェンダーとカーストを 焦点にして | 引地達也 (フェリス女学院 大学) アルン・プラカシュ・デソー ザ (上智大学) |
| 11:10- 11:40 | 「管理/監視社会」としてのコロナ政策のイ デオロギック特徴——コロナ禍の計量テキ スト分析における新聞記事データの重要性 | 明戸隆浩 (大阪公立大学) ハン・トンヒョン (日本映画 大学) 曹慶鎬 (武蔵大学) |
| 11:45- 12:15 | 『週刊文春』トップ見出しの計量テキスト分 析 —「スクープ」から「エビデンス」への戦 略的変容 | 丁 偉偉 (同志社大学) 小黒 純 (同志社大学) |

ワークショップ 6 (企画: 公募研究統括分科会 音楽/テクノロジー/メディア研究会)
2号館 5F 2501 教室

| 時間 | テーマ | 発表者 (所属) |
|-----------------|---|--|
| 10:00- 12:15 | 1990 年代の DTM 環境をめぐる「互 換性」の問題——メディア研究とポピ ュラー音楽研究の交差する観点から 考える | 司会者: 吉光正絵 (長崎県立大学) 問題提起者: 谷口文和 (京都精華大 学)、日高良祐 (京都女子大学) 討論者: 飯田豊 (立命館大学) |

ワークショップ 7 (企画: 山内萌会員) 2号館 4F 2401 教室

| 時間 | テーマ | 発表者 (所属) |
|-----------------|--|---|
| 10:00- 12:15 | デジタル空間におけるアイデンティテ ィーアバターのファッションと「か わいい」の観点から | 司会者: 梶本尚敏 (ココネ研究所) 問題提起者: 菊地映輝 (武蔵大学)、 山内萌 (ココネ研究所) |

ワークショップ 8 (企画: ダイバーシティ推進 WG) 2号館 4F 2402 教室

| 時間 | テーマ | 発表者 (所属) |
|-----------------|----------------------------------|--|
| 10:00- 12:15 | 学会活動におけるダイバーシティ施 策——これまでとこれから | 司会者: 竹田恵子 (東京外国語大学) 報告者: 田中瑛 (実践女子大学) 問題提起者: 中野円佳 (東京大学) |

ワークショップ 9 (企画: 国際委員会) 2号館 4F 2403 教室

| 時間 | テーマ | 発表者 (所属) |
|-----------------|--------------------------------------|---|
| 10:00- 12:15 | デジタル時代における「新」と「旧」 の加速——地域間比較の視点から | 司会者・問題提起者: 千葉悠志 (京 都産業大学) 討論者: 工藤文 (金沢大学) |

ワークショップ10 (企画:理論研究分科会 基礎理論研究プロジェクト)

2号館4F 2404教室

| 時間 | テーマ | 発表者(所属) |
|-----------------|--------------------------|---------------------------------------|
| 10:00- 12:15 | コミュニケーション効果論(メディア効果論)の再考 | 司会・討論者:山口仁(日本大学) 問題提起者:李光鎬(慶應義塾大学) |

ワークショップ11 (企画:奥村信幸会員) 2号館5F 2502教室

| 時間 | テーマ | 発表者(所属) |
|-----------------|---------------------|---|
| 10:00- 12:15 | 映像ジャーナリズム教育の現在地と未来像 | 司会者・問題提起者:奥村信幸(武蔵大学) 討論者:池本端(NHK)、高比良健吾(NHK) |

12:25-13:15 昼休み

12:25-13:15 メンターセッション(企画:ダイバーシティ推進WG) 2号館4F 2402教室

12:25-13:15 ポスターセッション(コアタイム) 2号館2F ダイニング

| 時間 | テーマ | 発表者(所属) |
|-----------------|--|------------------|
| 12:25- 13:15 | メディアとしての身体不在:レバノン内戦の行方不明者の事例から | 児玉恵美(日本学術振興会) |
| 12:25- 13:15 | ファン・ツーリズムによるプラットフォーム資本主義の再構築:中国ライブコマースをめぐる考察 | 蔡芸萌(北海道大学大学院院生) |
| 12:25- 13:15 | 日本におけるジェンダー・セクシュアリティに関するテレビ番組制作者たちの経験 | 柳下明莉(オタゴ大学大学院院生) |
| 12:25- 13:15 | 新聞普及率とは何か?—概念の再定義と二軸四象限モデルによる指標体系化— | 尾関高志(桜美林大学大学院院生) |

6月28日【午後の部1】 13:20-15:35

個人・共同研究発表7 1号館1F 1101教室

司会:加島卓(筑波大学)

| 時間 | テーマ | 発表者(所属) |
|-----------------|--|--------------|
| 13:20- 13:50 | 1934年の「日本ミッキーマウス・クラブ」発会式:関屋五十二による戦間期クロスメディア実践の諸相 | 北波英幸(羽衣国際大学) |
| 13:55- 14:25 | 南博の初期テキストにおける「コミュニケーション」の概念分析 | 宮崎悠二(京都文教大学) |

| | | |
|-----------------|---|-----------------|
| 14:30- 15:00 | 自衛隊による「国民の自衛隊」という自己イメージの形成：「防衛白書」のメディア史 | 塚原真梨佳（立命館大学） |
| 15:05- 15:35 | モブ化する善—チャリティ配信にみる小口・匿名寄付の動員と公共性の再配分— | 新嶋良恵（十文字学園女子大学） |

個人・共同研究発表8 1号館2F 1201教室

司会：岡井崇之（奈良県立大学）

| 時間 | テーマ | 発表者（所属） |
|-----------------|---|--------------------|
| 13:20- 13:50 | 放送法制定時における「通信官僚」の放送の公共性についての認識 | 立岩陽一郎（大阪芸術大学短期大学部） |
| 13:55- 14:25 | メディアとしての現代商品と貨幣の生成について—R. バルトの記号論から圏論へ— | 大山智徳（放送大学・全科履修生） |
| 14:30- 15:00 | フェアユースはAIを救うのか—著作権侵害訴訟が相次ぐ米国の現在地 | 城所岩生（国際大学） |
| 15:05- 15:35 | 現代アート市場における「所有」の正当化とジェンダー —雑誌『月刊アートコレクターズ』を事例として— | 陳海茵（東京工科大学） |

個人・共同研究発表9 1号館2F 1203教室

司会：松下慶太（関西大学）

| 時間 | テーマ | 発表者（所属） |
|-----------------|--|-----------------|
| 13:20- 13:50 | 定型的司会発話と番組設計—年越し音楽番組にみる日中放送文化の比較— | 吉松孝（九州共立大学） |
| 13:55- 14:25 | 構成される”作品性”—テレビCMテキストへの「鑑賞的／解釈的態度」と放送空間の相互反映性 1970年代以降を中心に— | 大石真澄（名古屋市立大学） |
| 14:30- 15:00 | スポーツ実況中継における現場レポートの相互行為分析：公共的な行為としての「再特定化」 | 是永論（立教大学） |
| 15:05- 15:35 | 社会への不満とメディア接触が投票行動に与えた影響の研究—2025年参議院選挙における特徴的な政党について— | 長濱憲（東京大学大学院元院生） |

ワークショップ12 (企画:理論研究分科会 先端理論研究プロジェクト)

2号館4F 2404教室

| 時間 | テーマ | 発表者(所属) |
|-----------------|---------------------|---|
| 13:20- 15:35 | 「障害とメディア」を実践する・実装する | 司会:村田麻里子(関西大学) 問題提起者:南谷和範(大学入試センター)、伊東俊祐(國學院大學) 討論者:近藤和都(立命館大学) |

ワークショップ13 (企画:大石裕会員) 2号館5F 2501教室

| 時間 | テーマ | 発表者(所属) |
|-----------------|---|---|
| 13:20- 15:35 | 放送の「質的公正」—「報道特集:「争点に急浮上 “外国人政策”に不安の声」」を素材にして— | 司会者・討論者:鈴木秀美(国士舘大学) 問題提起者:大石裕(十文字学園女子大学) |

ワークショップ14 (企画:歴史研究分科会 ジャーナリズム史プロジェクト)

2号館4F 2401教室

| 時間 | テーマ | 発表者(所属) |
|-----------------|----------------------------|--|
| 13:20- 15:35 | ジャーナリズムにおける専門性の再考:文学研究との架橋 | 司会者:木下浩一(立教大学) 問題提起者:加藤邦彦(駒澤大学) 討論者:畑仲哲雄(龍谷大学) |

ワークショップ15 (企画:長山智香子会員) 2号館5F 2502教室

| 時間 | テーマ | 発表者(所属) |
|-----------------|------------------------------|--|
| 13:20- 15:35 | グローバルOTTの文化翻訳:歴史表象の再文脈化に着目して | 司会者:尹芷汐(名古屋大学) 問題提起者:玄武岩(北海道大学) 討論者:長山智香子(名古屋大学) |

ワークショップ16 (企画:塩谷昌之会員) 2号館4F 2403教室

| 時間 | テーマ | 発表者(所属) |
|-----------------|---|--|
| 13:20- 15:35 | テキストマイニングと新聞記事の間にある諸課題—メディア研究者と新聞社の適切な関係の構築に向けて | 司会者・討論者:塩谷昌之(東京大学) 問題提起者:河野静香(東京都立大学) |

6月28日【午後の部2】 15:45-18:15

シンポジウム2 1号館B1F 1001教室

| 時間 | テーマ | 登壇者（所属） |
|-----------------|-----------------------------------|---|
| 15:45- 18:15 | 「テレビはどこへ向かうのか—制作現場を経験した研究者らの視点から」 | 司会：奥村信幸（武蔵大学、元テレビ朝日） パネリスト：渡辺将人（慶應義塾大学、元テレビ東京）、熊田安伸（スローニュース、元NHK）、脇浜紀子（京都産業大学、元読売テレビ）、中町綾子（日本大学、元民放連客員研究員） |